

金沢国際親善ニュース

蘇州市 姉妹都市提携30周年



記念植樹後の記念写真

かなざわ そしゅうしまいと していけい しゅうねん
金沢・蘇州姉妹都市提携30周年
 かなざわし だいひょうだん そしゅうし ほうもん
金沢市代表団蘇州市訪問

2011年8月25日から27日の3日間、山野市長、上田議長を始めとする金沢市代表団4名が蘇州市を訪問し、蘇州市と交流がある本市内団体とともに両市間の姉妹都市提携30周年を盛大に祝いました。詳しい内容は下記のとおりです。

1. 姉妹都市提携30周年記念植樹（8月26日）

金沢市側は金沢市代表団、金沢市日中友好協会、金沢国際囲碁交流協会、金沢青年会議所、北伸福祉会、福祉事情視察団など約100名、蘇州市側は高翠霞・副市長などが出席し、盤門景勝地友好城市苑にて執り行われました。多くの人々に見守られながら、山野市長、上田議長、紐野県日中友好協会会長が、高副市長らとともに蘇州市の花である木犀を植えました。



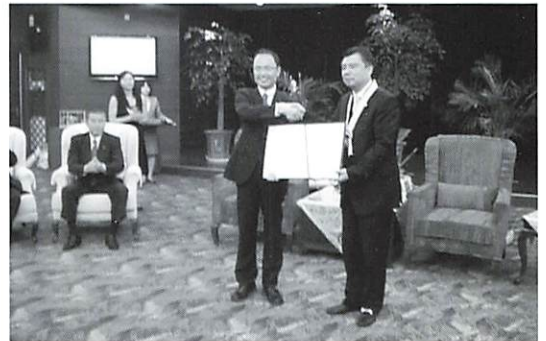
記念植樹の様子

2. 閩立蘇州市長表敬訪問・合意書締結・特別名誉市民証贈呈（8月26日）



合意書に署名する両市長

南林飯店において、金沢市代表団、金沢市日中友好協会、金沢国際囲碁交流協会、金沢青年会議所、北伸福祉会、福祉事情視察団の一行が閩立市長を表敬訪問しました。このあと、「蘇州市金沢市姉妹都市交流に関する合意書」に署名して、30周年記念贈呈物を交換しました。



特別名誉市民証の贈呈

蘇州市からは中国の提灯である「宮燈」を、金沢市からは加賀獅子頭をそれぞれ贈呈しました。

最後に、金沢市と蘇州市の友好交流についてこれまで多大なご貢献をいただいた閩立市長に、山野市長から金沢市特別名誉市民証を贈呈しました。



閩立市長との握手する山野市長

なお、今回の山野市長の蘇州市訪問を含む主な中国・韓国訪問日程は、次のとおりです。

- 8/25 小松空港より上海浦東空港着、蘇州市入り
- 8/26 蘇州-金沢 経済懇談会、姉妹都市提携30周年記念植樹、蘇州市長表敬訪問・合意書締結・特別名誉市民証贈呈
- 8/27 石川・金沢の蘇州進出企業視察、上海へ移動
- 8/28 上海浦東空港より仁川空港着、全州市入り、宋河珍市
 長と懇談
- 8/29 文明秀・全州市副市長表敬訪問、全羅北道扶安郡へ移動
- 8/30 全羅北道扶安郡にて日中韓地方政府交流会議参加、ソウルへ移動
- 8/31 ソウルにて観光セミナー
- 9/1 仁川空港より帰国、帰国

にほん ちゅうごく かんこく せかい かなざわ はっしん
日本・中国・韓国から世界へ金沢のまちづくりを発信



山野市長によるプレゼンの様子

2011年8月30日に韓国・全羅北道扶安郡にて開催された「第13回日中韓3カ国地方政府交流会議」の事例発表において、山野之義金沢市長は、「人と自然に優しいまち・金沢～責任と誇りをもてるまち金沢をつくる～」をテーマに、日中韓3カ国の地方自治体の首長ら532人に向けて金沢のまちづくりを発表しました。山野市長は、「恵まれた自然と共生し、歴史と伝統の環境を守り、創造的な試みを続けることで住民が責任と誇りをもてるまち金沢をつくり、その魅力を世界に向けて発信していく」取り組みを紹介しました。

だい かい しまい じ ち たい こうりゅう ひょうしょう そう む だい じん しょう じゅしょう
第5回 姉妹自治体交流表彰（総務大臣賞） 受賞

ナンシー市との交流において、金沢市は姉妹自治体交流表彰（総務大臣賞）を受賞し、2011年5月13日に表彰式が行われました。長年の交流を継続しながら、日仏自治体交流会議で日仏の双方自治体を巻き込んで、多面的な議論を展開する機会を作り出し、相互の発展を目指す取組みや、金沢市の伝統である文化・芸術に加えて、ものづくりの分野でも姉妹自治体交流を融合させ、ものづくり産業の発展を目指す取組みを行っていることが、評価されました。



表彰式後の記念撮影

ひがし にほん だいしんさい ひろ し えん
東日本大震災に広がるあたたかい支援



被災地の子どもたちに寄せられたお菓子やおもちゃ

昨年3月11日に発生した東日本大震災をうけて、姉妹都市をはじめとする自治体からメッセージや支援金、物資が送られました。

メッセージについては、姉妹都市をはじめとする9都市からお見舞いの書簡が寄せられたほか、支援金としては、バッファロー・金沢姉妹都市委員会が日本赤十字社に寄付をしました。またゲント市在住の日本人市民からはバザーを通じて売上げでお菓子やおもちゃを送付していただき、被災地から市内に避難している子どもにプレゼントしました。

さらにナンシー市では2011年4月11日の市議会で「姉妹都市金沢を通じて仙台市に支援金を送金する」ことが決議されました。金沢市とナンシー市、仙台市は「日仏自治体交流会議」の参加都市であり、金沢市から河原清文化交流部長らが2011年7月5日に仙台市の奥山恵美子市長を訪問して、市民からの募金を含む支援金約532万円（4万6千ユーロ）の目録を持参したほか、2012年1月にも約118万円（1万2千ユーロ）を送付しました。

ところで、東日本大震災後、外国人観光客の来訪者数が、2011年は、前年比約6割となっていました。そこで、金沢市では、宿泊施設や交通機関が平常

であり、安全に安心して滞在できる状況を伝えるための「安心してお越しく下さい」との文面を10カ国の言語でHPに掲載しました。また5人の国際交流員は、季節ごとの魅力を紹介したビデオメッセージを海外へ向けて配信しました。

これらの取り組みなどにより、海外からの市内の観光客数は徐々に回復傾向にあります。

バッファロー [アメリカ合衆国]



バッファロー・ステート・カレッジからの派遣教員ヨゼフ・バユス准教授市長表敬訪問

提携 1962年(昭和37年) **人口** 26万人

面積 105km²

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。「五大湖の女王都市」とも呼ばれ、オルブライト・ノックス美術館、1846年創立の州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が6つ現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西 25km の所にある。

バッファロー・ステート・カレッジ教員の受入

金沢美大とバッファロー・ステート・カレッジでは交流事業として、2008年度から教職員の相互交流を行っており、現在、正式な交流協定締結に向けて準備を進めています。今年度は、2011年10月15日から10月22日にかけて、バッファロー・ステート・カレッジからヨゼフ・バユス准教授を受け入れ、講演会及びワークショップを開催しました。

バッファロー市からの来客

バッファロー市在住の造園設計家であり、また尺八奏者としても活躍するジョシュア・スミス氏が、2011

年10月12日、バッファロー・金沢姉妹都市委員会会長の代理として、市内の茶室や庭園を視察するため、来沢しました。視察先では、説明に熱心に耳を傾け、金沢の茶室、庭園の奥深さを学びました。

Topics

バレエ交流の実現!

2011年7月15日から8月1日にかけて、中山芽バレエスタジオに通う子どもたち6名がバッファロー市内にあるバレエ学校ネグリアバレエにおいて、短期のバレエ留学を経験しました。ネグリアバレエのアーティスト芸術監督のセルジオ・ネグリア氏は、2007年に姉妹都市提携45周年代表団の一員として来沢経験があり、今回の短期留学はその縁がきっかけとなって実現したものです。滞在中は、現地の子どもたちとも大いに交流を深め、貴重な経験となりました。

ポルト・アレグレ [ブラジル連邦共和国]



ブラジル石川人会会長市長表敬訪問

提携 1967年(昭和42年) **人口** 141万人

面積 497km²

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオ・デ・ジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グワイーバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウショ(カウボーイ)の像が訪れる人々を出迎えている。

元国際交流員との再会!

2006年4月から2009年3月にかけて、国際交流課で勤務していたブラジル元国際交流員の矢吹鈴木メリッサさんが、ブラジルから職場研修のため来日し、2012年2月23日から25日にかけて、来沢しました。滞在中には市役所も訪れ、在任中に親交のあった多くの友人と旧交を温めました。

ブラジル石川人会会長の来沢

2011年5月16日から18日にかけて、ブラジル石川人会の小堀勇ジェラルド会長が、東日本大震災の被災者への県人会からの募金の持参のため、来沢しました。市長表敬の場では、ブラジル日系人の間でも被災地を案じる声が多く、募金については会員からの自発的な申し出が多かったことを説明しました。また金沢留学時代の金沢の思い出も披露しました。

イルクーツク

【ロシア連邦】



創市350周年記念事業「姉妹都市公園開園式」後の各都市代表者ら

提携 1967年（昭和42年） **人口** 58万人

面積 280km²

バイカル湖（世界遺産）の南にある中部シベリア最大の都市で、イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

イルクーツク創市350周年記念事業 代表団・文化団派遣



創市350周年記念式典での文化団の様子

2011年がイルクーツクのまちの礎となる“要塞”ができてから350年目となることから、6月2日から5日にかけて記念事業及びその枠組みの中で姉妹都市公園開園式（2007年に1/20サイズ

のことじ灯籠レプリカを贈呈）が行われ、両市の友好の更なる促進を図るため、2011年5月31日から6月6日の日程で扇子嘉則都市整備局長以下2名の代表団を派遣しました。滞在中、一行は、他の10都市の代表団とともに“都市とデザイン”展覧会、野外展覧会”イルクーツク-私の心”、姉妹都市公園開園式、カーニバル、記念コンサート、姉妹都市友好写真展などに参加し、現地の交流関係者らとの交流を深め、両市の絆をより一層固く結び付けてきました。

なお、同市から代表団に併せて文化団を派遣してもらいたいとの要望もあり、同じ日程で同市を訪問した石川県ロシア協会金沢支部（金沢市ロシア協会）の民謡舞踊文化団（6名）派遣について協力しました。

【主な日程】

- 5/31 金沢→関西空港→北京
- 6/1 北京→イルクーツク
- 6/2 記念展覧会参加
- 6/3 バイカル方面視察
- 6/4 姉妹都市公園開園式、カーニバル、記念コンサート参加
- 6/5 姉妹都市友好写真展参加
- 6/6 イルクーツク→北京→関西空港→金沢

胸一杯の思い出！ 金沢市中学生親善団訪問 -イルクーツク市の夏-

2011年7月28日から8月3日まで、新家俊一金沢市市民局長を団長とする中学生親善団19名（うち中学生14名）が、イルクーツク市を訪問しました。団員は、ホームステイや交流会等を通じて新しい友人を作ったほか、市内や世界遺産であるバイカル湖の見学なども

行い、姉妹都市に関する理解を深めるとともに、たくさん思い出を持って金沢市へ戻りました。なお、今回、初めて北京経由で訪問しました。

【主な日程】

- 7/28 金沢→関西空港→北京
- 7/29 北京→イルクーツク
- 7/30～31 ホームステイ・ホスト家庭との交流会
- 8/1 イルクーツク市長表敬訪問・学校訪問・市内見学
- 8/2 バイカル湖方面見学
- 8/3 イルクーツク→北京→関西空港→金沢

美術コンクール「私たちは、まちを歩き回る！」に 金沢市の中学生が入選!!

イルクーツク市より、7歳から15歳までの児童・生徒を対象に、地域や人間の文化に対する興味を高めてもらい、芸術の発展と振興を図ることを目的に「私たちは、まちを歩き回る！」美術コンクール（主催：同市、第3美術学校他）を開催すると連絡があり、これを本市の小・中学校へ案内したところ、高尾台中学校から1点の応募がありましたので、イルクーツク市へお送りしました。

応募作品の水彩画「長町の風景」は見事に入選し、作品を描いた生徒と指導教諭には同市より賞状と入賞作品の掲載されたカタログが贈られました。

Topics

石川県ロシア協会～各種事業を展開～

2011年10月24日から28日にかけて、石川県ロシア協会金沢支部（金沢市ロシア協会）は、金沢市役所エントランスホールに於いて、同協会が毎年設定している日ロ友好親善月間「フエスタ・バイカル2011」の一環として交流写真展を開催しました。交流写真展では、同協会がイルクーツク州に派遣した友好交流代表団、演劇団、創市350周年文化団やまちなみなどの写真を展示しました。なお、同ホールでは同時に防火ポスター展も開催されており、来庁された方々は、併せて楽しんでいました。

2012年3月17日から18日にかけて全国から約150名の代議員らの参加のもと「日本ユーラシア協会第53回全国総会」が開催され、県立音楽堂で開催された開会式に金沢市長の代理として森源二副市長が出席、金沢市長からの歓迎のメッセージを披露しました。この総会が金沢市で開催されるのは1966年、1985年に次いで、3回目のことでした。

ゲント 【ベルギー王国】



ゲント王立美術アカデミー留学生の市長表敬訪問

提携 1971年(昭和46年) **人口** 25万人 **面積** 156km²

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「ゲント・フローラリア」は世界的にも有名。ゲント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鋳などの産業が発達した。聖バーフ大聖堂や1816年創立のゲント大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

芸術交流の輪広がるクリエイティブ・ワルツ事業

若手作家を海外へ派遣するクリエイティブ・ワルツ事業で、金沢美大生の森山理絵さん(絵画専攻、修士1年)と荒殿優華さん(彫刻専攻、修士1年)が2011年12月21日から23日にかけて、ゲント市を訪問しました。滞在期間中は、ゲント市役所担当者の案内で市内の美術館や博物館などを視察するとともに、金沢に縁のある方たちとも交流を深めることができ、それぞれに金沢とゲントとの友好を確かめました。

美大の学生交流

金沢美大とゲント王立美術アカデミーでは、二校間協定に基づく学生の交流を行っています。

今年度は、金沢美大からは、吉村知代さん(視覚デザイン3年・派遣期間:2/20~3/31)と竹田紗彩さん(ファッション修士1年・派遣期間:2/8~5/5)が2012年2月からゲント王立美術アカデミーで留学生生活を始めました。ゲント王立美術アカデミーからは、ジュリー・プロヴォストさんとマレイク・デ・ローヴルさんの2名が、2011年10月から金沢美大で学んでいます。

ナンシー 【フランス共和国】



ナンシー市副市長の金沢市長表敬訪問

提携 1973年(昭和48年) **人口** 10万人 **面積** 15km²

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。近郊を含め、学生数4万人の学術都市として、また、国際的な演劇祭や音楽祭、国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

ナンシー国際見本市に参加



友禅手描き彩色の体験

ナンシー市では、「日本」をテーマに2011年5月13日から23日の間、国際見本市が開催されました。ナンシー市からの招待により、唯一の自治体として金沢紹介ブースを出展し、加賀友禅の展示や友禅手書き彩色の実演・体験、伝統工芸品の販売、金沢の映像上映、鼓の披露や能面の着用体験を行い、金沢の魅力を発信しました。

金沢21世紀美術館で研修

ナンシー近郊出身の大学生のエマ・ヌスパウムさん(美術書出版・編集専攻)が金沢21世紀美術館にて、2011年5月6日から7月9日まで研修を行いました。

ナンシー・エコール・デ・ミンヌ 2回目の企業・大学研修実施

ナンシー・エコール・デ・ミンヌ校の団(情報システム課2年生22名・引率者5名)が2012年3月28日から4月3日の間、金沢市に滞在し、金沢市及び金沢市近郊の情報関連企業や高等教育機関を訪問し、研修を行いました。学生たちは熱心に説明に耳を傾け、活発な質疑が行われました。

21人目の交換留学生

金沢市から昨年派遣された原恵理子さんが帰国し、21人目の金沢留学生として、布川恵理さん(金沢美術工芸大学・芸術学)が2011年10月よりナンシー国立高等美術学校で留学生生活を始めました。ナンシー市からは、21人目のナンシー留学生として、ポール・オマーージュさん(ナンシー国立高等美術学校)が2011年10月より金沢美術工芸大学で学んでいます。

Topics

ナンシー市副市長が来沢

2011年6月17日にナンシー市ジャン=ミシェル・ベルレモン副市長が来沢しました。

蘇州【中華人民共和国】



書道展開会式のテープカットの様子

提携 1981年(昭和56年) **人口** 642万人

面積 8,488km²

約2500年前、「呉」の国の都として築かれた古都。温かな気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。食の地としても有名で「魚と米の里」と呼ばれているが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出しめざましい経済発展を遂げている。

中国蘇州市書道展開催

2011年11月23日から11月26日まで、金沢海みらい図書館1階交流ホールにおいて、「中国蘇州市書道展 呉門書道-中国書道名城蘇州作品展(日本巡回展)」を開催し、蘇州市を中心に活躍する呉門書派の書道作品50点が展示されました。

これにあわせて、姚東明・蘇州市政治協商会議副主席・蘇州市工商業連合会主席を団長とする蘇州市友好訪問団6名と華人徳・蘇州市書道家協会主席を団長とする蘇州市書道家代表団6名が来沢し、11月22日に山野市長を表敬訪問するとともに、翌23日の書道展開会式に出席しました。



表敬訪問で挨拶する姚副主席

中国蘇州市新呉門画派中国画展開催

蘇州市にある蘇州国画院の画師による水墨画を中心とした中国画58点を展示する「中国蘇州市新呉門画派中国画展」が、2011年12月17日から20日まで金沢海み

らい図書館において開催されました。

本展示会は、2010年に実施されたヨーロッパ巡回展に引き続きアジア巡回展として初めて金沢市で開催されたものです。

また、初日の17日に開催された開会式に出席するため、姚新峰・蘇州国画院副院長を団長とする蘇州国画院代表団4名が来沢しました。

閻立・蘇州市長が、江蘇省常州市共産党委員会書記に昇任

2011年8月に、金沢市特別名誉市民証を贈呈した、閻立・蘇州市長が2012年2月22日付けで、江蘇省常州市共産党委員会書記に昇任されることになりました。現在は、周乃翔氏が代理市長を務めています。2005年1月の就任以来、長年にわたり金沢市と蘇州市の姉妹都市交流について尽力いただいた閻元市長に心より感謝申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

Topics

金沢市議会姉妹都市等友好訪問団が蘇州市・大連市を訪問

黒沢和規・金沢市議会副議長を団長とする「金沢市議会姉妹都市等友好訪問団」14名が、2011年10月23日から31日(天候不良により1日延長)まで蘇州市と大連市を訪問し、両市議会との一層の友好交流を深めました。

全州 【大韓民国】



「金沢伝統工芸展」開会式のテープカットの様子

提携 2002年（平成14年） **人口** 65万人

面積 206km²

「後百濟」の都として千年余りの歴史を持つ古都。現在は全羅北道の道都である。李氏朝鮮を開いた李成桂が居を定めた地としても知られる。国指定宝物の豊南門（ブンナムン）、韓屋村などの歴史遺産や韓紙（ハンジ）、韓食（ハンシク）、韓（ハン）ソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されており、「もっとも韓国的な都市」と評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求しているとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、持続可能な成長のための21世紀新産業都市への変貌を図っている。

韓屋保存委員会金沢訪問団受入

蔡秉善・韓屋保存委員会副委員長、金南圭・全州市議会議員をはじめとする韓屋保存委員会金沢訪問団が、2011年6月29日から7月1日の3日間、本市に滞在し、金沢市の都市整備に関する説明を聞くとともに、ひがし茶屋街などを視察し、6月30日には山野市長を表敬訪問しました。今回の訪問は、本市の伝統家屋保存事例や都市整備について学ぶことで、全州市にある韓国伝統家屋群である韓屋村の保存・継承・創造に寄与することを目的としています。

全州市民に加賀毛針を紹介—「第10回金沢伝統工芸展」開催



加賀毛針の製作実演をする目細由佳さん

2011年7月26日から31日まで全州市の校洞アートセンターにおいて「第10回金沢伝統工芸展」を開催し、加賀毛針をはじめ、加賀水引細工、加賀繡、金沢和傘などの本市の稀少伝統工芸品約64点を

展示しました。この展示会は、2002年の姉妹都市提携後、全州市の（社）韓紙文化振興院との間で毎年相互に双方の都市で開催しているもので、今年で記念すべき10回目となります。

これにあわせて、株式会社目細一郎兵衛商店代表取締役の目細勇治さんと加賀毛針職人の目細由佳さんご夫妻が、7月27日から30日まで全州市に滞在し、加賀毛針の実演・加賀毛針ブローチ作り体験講座を実施しました。加賀毛針の実演を見た全州市民らは非常に繊細な作業に感嘆をあげながら見入っていました。また、毛針ブローチ作り体験では、それぞれ個性豊かな作品を仕上げていました。

また、二人は、宋河珍・全州市長を表敬訪問しました。

パンソリ・サムルノリ公演団「東南風」受入

全州市からパンソリ・サムルノリ公演団である「東南風」が来沢し、2011年9月30日から10月3日の日程で本市に滞在しました。



韓国民謡体験中

9月30日には、石川県日韓親善協会創立

40周年記念公演「韓国伝統舞踊と伝統音楽と講演会の夕べ」で公演しました。

10月1日には、金沢市民芸術村にて「パンソリ&サムルノリ初心者向け講座」を開催しました。出席者らは、パンソリとサムルノリの楽しい解説を受けた後、韓国の民謡やサムルノリの演奏を実際に体験し、音楽を通して韓国の文化をより身近に感じることができたようでした。

山野市長と宋河珍・全州市長が対面



宋市長、書議長（右）と歓談する山野市長と上田議長（左）

山野市長が、2011年8月28日から29日まで全州市を訪問し、山野市長が市長に就任して初めて宋市長と対面し、親睦を深

めました。また、両市長懇談の席には、上田議長と曹志訓・全州市議会議長も同席しました。

Topics

金沢市議会代表団、全州市訪問

高村佳伸・元金沢市議会議長を団長とする「金沢市議会代表団」10名が、2011年9月25日から27日まで全州市を訪問し、全州市議会とのより一層の友好交流を深めました。

大連【中華人民共和国】



大連大学訪問団と市長・教育長との記念撮影

提携 2006年(平成18年) **人口** 613万人 **面積** 12,574km²

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で、貿易金融の中心都市。総延長 1,900 kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれた風光明媚で活力溢れ、「ロマンの都」「北方の真珠」とも称えられるファッションとサッカーをイメージした戦略で知られる観光都市でもある。

また、船舶・鉄道車両などの工業分野でも大きな発展を遂げるとともに、郊外に位置する「経済技術開発区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指す今日の大連市は、北東アジアにおける重要な国際航運センターと国際都市の建設に邁進している。

教育相互交流の実施

2011年9月19日から23日にかけて、金沢市管理職教員海外派遣研修としてアジアの英語教育先進地である大連市へ本市教職員6名を派遣しました。

これを受けて金沢市教育委員会の相互交流の一環として賈聚林・大連中日教育文化交流協会副会長を団長とする中国大連市教育交流団10名が、2011年11月23日から11月26日まで本市に滞在し、市内の小中学校を訪問するとともに、24日には金沢市役所を表敬訪問して浅香教育長と懇談しました。また、同日(株)アルプの「大連館」を見学した後、古賀克己・石川県日中友好協会会長とも懇談しました。

大連大学訪問団来訪

王志強・大連市立大連大学校務委員会主任を団長とする大連大学訪問団5名が、2011年7月24日から26日まで本市に滞在し市内の提携大学を訪問するとともに、26日には金沢市役所を表敬訪問して山野市長と懇談しました。また、表敬訪問の際には、古賀克己・石川県日中友好協会会長も同行しました。

夏徳仁元大連市長が遼寧省中国共産党委員会副書記に昇任

2011年6月27日付けで夏徳仁・大連市委員会書記(元大連市長)が、遼寧省中国共産党委員会常務委員、副書記に昇任しました。今後の夏氏のご活躍を期待しております。

Topics

(財)金沢国際交流財団 「新規留学生のための金沢めぐり」

金沢市に来てまもない新規留学生を対象に、金沢の伝統文化に触れ、歴史に理解を深めてもらうことを目的に、金沢市内の文化施設を巡るツアーを2011年5月28日に実施しました。当日は、金沢大学や北陸大学、星稜大学、アリス国際学園に在学する、中国やバングラデシュ、インドネシア、ベトナム、ネパールからの留学生が40名参加しました。

「金沢卯辰山工芸工房」では、金沢の伝統工芸を学ぶ海外からの研修生もおられ、実際の作業工程を見学



金沢卯辰山工芸工房にて

させていただくことが出来ました。また、「安江金箔工芸館」では、金箔の製作過程を説明いただき、展示品に触れさせていただきました。

留学生にとっては、金沢に住んでいても、大学の勉強やアルバイトに忙しく、金沢の文化や歴史を知る機会がもてないという声も寄せられています。今回のイベントをきっかけに、これから暮らしていく金沢というまちに愛着と関心をもってもらいたいと思います。

文化施設パンフレット 多言語化

海外からの誘客力向上を目的に、金沢市文化施設を訪れる外国人の方に金沢の文化や偉人についての理解をより深めてもらうため、市内15文化施設の多言語パンフレット(英語、中国語簡体字、中国語繁体字、韓国語)を揃えました。



文化施設多言語パンフレット

国際交流ダイアリー

4~6月

- 4月12日 韓国自治体首長 金沢まちづくり視察団 来訪
- 4月14日 金沢出身青年海外協力隊員2名がベリ
ズ・ウガンダからの帰国挨拶
- 4月21日 大阪・神戸ドイツ総領事 来訪
- 4月25日 台北駐日経済文化代表処代表 来訪
- 4月26日 駐大阪・神戸米国総領事 来訪
- 5月2日 韓国江原道原州市訪問団 来訪
- 5月9日 韓国水原市ファソン市街地再開発関連日
本視察団 来訪
- 5月26日 駐新潟大韓民国総領事 来訪
- 6月3日 韓国禮山郡月進会 来訪
- 6月13日 金沢市出身青年海外協力隊員1名がタン
ザニアへの出発挨拶
- 6月28日 韓国完州郡役場金沢市視察団 来訪

7~9月

- 7月6日 米国シアトル市エクスタイン中学校交流
研修訪問団 来訪
- 7月19日 韓国烏山市議員海外研修団 来訪
- 7月22日 中国大使館参事官一行 来訪
- 8月19日 金沢市早朝ソフトボール連盟 第12回韓
国ソフトボール交流友好訪問団 出発挨
拶

10~12月

- 10月1日 国際交流まつり2011（庁舎前広場~2日
まで）
- 10月11日 韓国地方自治経営研究所「郷富塾」
来訪

- 10月14日 全州市柔道会金沢訪問団 来訪
- 10月18日 金沢市立工業高等学校 出発挨拶（韓国
全州工業高等学校との交流）
- 10月26日 金沢出身青年海外協力隊員1名がケニア
からの帰国挨拶
- 11月2日 第9次中国日本友好協会事務局代表団
来訪
- 11月4日 韓国国立現代美術館・清州市訪問団
来訪
- 11月8日 韓国榮州市訪問団 来訪
- 11月11日 韓国秋溪大学訪問団 来訪
- 11月11日 蘇州日報社代表団 来訪
- 11月11日 第2回日韓中三姉妹都市囲碁親善交流大
会2011 蘇州市・全州市参加団 来訪
- 11月14日 蘇州市青年連合会訪問団 来訪
- 11月18日 アジアフォーラムin石川2011参加団 来
訪
- 11月24日 政策研究大学院大学からの来訪団 来訪
- 12月5日 李相七・(社)韓紙文化振興院理事長 来訪
- 12月14日 金沢出身青年海外協力隊員3名がポリビ
ア・ケニア・ウガンダへの出発挨拶
- 12月22日 韓国中央大学校音楽大学オーケストラ金
沢公演団 来訪

1~3月

- 1月20日 フランス大使館経済部参事官 来訪
- 2月1日 韓国国土海洋部中央都市計画委員会訪問
団 来訪
- 3月27日 韓国忠清北道文化財団金沢市視察団 来
訪
- 3月28日 駐大阪・神戸米国総領事 来訪

国際交流員の一年

ロバート・ワーサーム (アメリカ)



皆さん、こんにちは！一昨年の8月にアメリカから金沢にやって来ましたロバート・ワーサームです。金沢に来て一瞬のうちに1年半が経ちました。2年目の国際交流員として、1年目に身につけたスキルをさらに向上することができました。業務の大部分を占める翻訳はもちろんのこと、通訳、表敬訪問、その他子供たちを対象にアメリカの文化や遊びを紹介するイベント、帰国子女を対象とした英会話イベント、国際交流祭りの司会進行、ラジオ出演、テレビ出演などもしました。

去年の新年度の初めに、留学生の説明会や新規留学生文化めぐり

の通訳をしました。そして6月に入ったら、ヨーロッパやアジアから来た37名の学生が参加して金沢を歩き、魅力と課題を分析した「金沢城下町ワークショップ」の通訳者として勤めました。また、8月にオープンした「本田圭佑クライフコート」オランダから来てくれたキーパーソンの通訳もしました。しかし通訳だけではなく、北陸新幹線の開業をむけて、金沢の伝統工芸や英語表記等の翻訳にも力を入れました。よりカジュアルな環境でいくつかの小学校や公民館にも行って、地元のクリーブランド市について紹介しました。

こういったアメリカの文化について多くの人に知ってもらえるような仕事や通訳、翻訳の際には、言葉の壁をなるべく取り除くように努めてきました。今後も金沢で日本人と外国人の架け橋となるように手助けをしたいと思っています。

マリス・ホルヴァート (ベルギー)



はじめまして！新しいベルギー国際交流員のマリスと申します。この度、5年間にいたソフィさんへの後任として金沢市で仕事をさせていただくことになりました。去年の8月に来沢してから、まだ一年が経っていませんが、今まで過ごした期間はアドベンチャー満々でした！国際交流員としての仕事は大学卒業後初めての仕事ですが、変化に富んで、時々やりがいのある仕事があって、あらゆる面で同僚に支援をいただいて、世界に比類のない理想の仕事だと思っています。ずっと大切に思う人物に出会ったり、経験をしたりします。次のアドベンチャーは何になるだろうかと思いつつ、今後の展開に期待していま

す。アドベンチャーと言えば、金沢の天気は毎日大サバイズなので…(ベルギーの天気より変わりやすい気候はどこにもないと思ったのに) (笑)…特に雪や大雨の日に通勤がミニアドベンチャーです。でも、私の長ブーツと傘で、もう金沢人になりましたよ！一方では、日本の生活に没入していて、日本文化にももっとふれたいと思っていたため、箏レッスンと生け花を学び始めました。金沢では伝統工芸の体験がたくさんできるともすごく嬉しく思っています！他方では、皆さんにベルギーについて様々な紹介したいことがあります。小さな国ですが、素敵なお店や皆に知らせたいと思います！前任者と同じように立派な国際交流員になれるように頑張ります。よろしくお願ひ致します！

趙麗媛 (中国)



ニーハオ！
去年6月、中国の蘇州市から来た国際交流員趙麗媛と申します。金沢での滞在時間はとても短く、10か月間はあっという間に過ぎて、4月にはもう帰国する予定です。久しぶりに親に会うのをワクワクする一方、金沢の友達や同僚たちと別れるのは寂しく思います。

去年の2011年は金沢市と蘇州市姉妹都市提携30周年で、記念事業として、8月に市長をはじめとする金沢訪問団の蘇州市訪問や、金沢で蘇州市書道展、水墨画展の開催など、多くのイベントが行われました。社会人になったばかりの私が通訳として30周年の交流活動に協力

できたことはとても光栄に思います。また、通訳は簡単なことではないと実感しました。勤務地の蘇州に帰ってもがんばりたいと思います。

そのほか、国際交流員としての仕事はどれも新鮮なことばかりでした。「ニーハオ蘇州」文化紹介講座、餃子作り講座、『三国志』のお話の会、学校訪問やビデオ撮影など、たくさんのお話を体験しました。難しいと感じたこともありますが、親切な金沢市民に自国のことを紹介できてうれしかったです。

仕事以外も、楽しいことがいっぱいありました。夏の山登り、冬のスキー場、友達との旅行や様々な会、いずれも私にとって印象深く、忘れられない思い出になりました。

金沢の皆様、10か月間、いろいろお世話になりました。たくさん感動を胸に抱いて帰国します。また蘇州でお会いしましょう！

モハメド・ガネム (フランス)



昨年は東日本大震災が発生し、東北が未曾有の巨大津波に襲われ、福島原発事故も起きました。災害地の悲惨な景色は誰も忘れられないことは言うまでもありません。日本人、そして在日外国人にとっては災禍の一年でした。ただ、そういった大惨事があったとしても、私たちは前を向いて生活していかなければなりません。震災の直後には、世界中から多くの応援メッセージや支援物資が届きました。ナンシーの日本愛好者も様々なチャリティイベントや募金活動を企画してくれ、金沢市を通じて約650万円を仙台市の方に寄付しました。日仏関係と云えば、今年度も事業が活発に行われました。その1つは2011年5

月に開催されたナンシー国際見本市の際に金沢市がブースを出展したことです。去年は国際見本市の特別招待国が日本になったので、ナンシー市は金沢市を招待してくれました。そこで、加賀友禅の実演・体験の場を提供し、金沢の伝統工芸・芸能を紹介しました。10日間の開催期間中、金沢市のブースは約10万人の来場者を迎えたナンシー国際見本市のホットスポットになりました。母国で日本文化が愛され、非常に胸を打たれました。

最後になりますが、今年の7月末に私の契約が終了します。3年間金沢市に国際交流員として勤めさせてもらい、非常にユニークな経験ができました。皆さん本当にお世話になりました。これからも自分の道に進んで、ここで得たものを生かせるといいなと思います。また、どこかでお会いしましょう。

李瑜林 (韓国)



皆さん、アンニョンハセヨ (こんにちは)。
2011年4月から国際交流員として働くことになりました。韓国出身李瑜林と申します。金沢にはじめて来た4月に兼六園に桜が美しく咲いていた暖かい春でしたが、あっという間に1年が過ぎ、また新しい春を迎えようとしています。

この1年は私にとって意味のある一年となりました。大学の専攻を日本語に決めた後、将来には日本語と韓国語スキルを活かした異文化交流のお仕事ができるとずっと思っていたのですが、第一志望してい

た金沢で日韓の交流のお仕事ができ、すごく嬉しかったです。

お仕事の内容においては、公の通訳、一般市民対象の韓国語講座、国際交流まつりの司会など初めて経験するお仕事が始めで、時には緊張してミスもしたりしましたが、周りの方々にアドバイスをもらうなど楽しく交流しながら元気にお仕事することができました。

いろいろな面で未熟である私ですが、日本と韓国が互いに理解し、よりうまく交流できるよう少しでも役に立てたらと思っています。これからも皆さんと仕事を通じてできる限り交流を深めたいと思いますので、皆様くれぐれもチャルブタクハムニダ (よろしくお願ひします)。



第38号 (2011・平成23年度)

発行 金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市都市政策局文化交流部国際交流課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069

E-mail : kokusai@city.kanazawa.lg.jp